

平成24年度関東倶楽部対抗東京ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 14倶楽部 ・ 112名)

期日：5月21日(月)

場所：青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(東コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	土志田 誠治	府中	大里 俊博	東京国際	松本 順二	東京よみうり	石黒 豊康	GMG八王子
2	8:09	安藤 謙治	八王子	細野 正明	相武	野中 征夫	赤羽	渡辺 能邦	武蔵野
3	8:18	戸高 明人	青梅	義山 鐘立	立川国際	佐藤 満男	多摩	白仁田 和美	東京五日市
4	8:27	塩田 義勝	小金井	内藤 正幸	桜ヶ丘	山田 益樹	府中	石川 弘人	東京よみうり
5	8:36	水島 節雄	赤羽	橋本 圭司	八王子	山中 秀一	青梅	指田 博	多摩
6	8:45	大久保 蕃	桜ヶ丘	谷 真	東京国際	倉田 昇	GMG八王子	松下 和好	相武
7	8:54	荻島 富雄	武蔵野	久保田 俊昭	立川国際	込谷 久雄	東京五日市	岡田 和樹	小金井
8	9:03	鈴木 正治	府中	棚橋 昭彦	GMG八王子	船崎 重行	赤羽	大橋 吉一	立川国際
9	9:12	今吉 隆之	桜ヶ丘	柏田 諄	東京国際	多田 勇二	八王子	馬場 康次	武蔵野
10	9:21	原田 光則	多摩	渡邊 太郎	小金井	松尾 俊介	東京よみうり	藤田 富雄	相武
11	9:30	海老沢 孫顕	青梅	有留 義武	東京五日市	水上 富登	府中	簡野 芳憲	八王子
12	9:39	片野 誠一	東京国際	水野 正臣	桜ヶ丘	嶋田 憲人	青梅	馬場 義徳	相武
13	9:48	平山 康則	立川国際	植田 元	小金井	宮澤 泰三	東京よみうり	遠藤 勇	赤羽
14	9:57	大久保 修男	多摩	杉田 努	GMG八王子	青木 茂	武蔵野	富澤 良二	東京五日市

10番(西コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
15	8:00	田村 昌三	府中	坂西 秀之	相武	久富 隆生	多摩	野村 幸晴	東京国際
16	8:09	上田 晃	赤羽	飯島 慎平	東京五日市	鈴木 良一	東京よみうり	細野 敏彦	武蔵野
17	8:18	加瀬 博功	桜ヶ丘	神田 義明	GMG八王子	清水 正一	青梅	深井 純	小金井
18	8:27	寺島 英男	八王子	柳 秀熙	立川国際	小林 正剛	府中	蛭原 康善	赤羽
19	8:36	寺澤 敬雄	桜ヶ丘	黒田 隆雅	東京国際	内田 圭信	武蔵野	米満 康二	小金井
20	8:45	志村 堅二	東京よみうり	竹花 英文	青梅	塚本 正人	GMG八王子	江本 浩	立川国際
21	8:54	元木 努	多摩	清水 雅英	八王子	塚 政一朗	相武	和田 雅英	東京五日市
22	9:03	高橋 克己	武蔵野	牧野 純也	府中	白井 洋之	東京国際	榊田 剛	青梅
23	9:12	田村 巖	東京よみうり	伊藤 泰介	立川国際	梶田 一男	GMG八王子	師玉 勉	多摩
24	9:21	和田 博	東京五日市	津村 信彦	八王子	平 智	相武	鷺野 憲治	桜ヶ丘
25	9:30	森居 達郎	赤羽	阿部 幸三	小金井	亀山 栄	府中	中嶋 規夫	青梅
26	9:39	永井 英輔	東京国際	中村 潤	立川国際	箕輪 進	東京よみうり	比留間 武治	多摩
27	9:48	東 修一	GMG八王子	久田 謙	東京五日市	島村 敏	八王子	隅田 城	桜ヶ丘
28	9:57	勝沢 広行	相武	丹羽 基広	小金井	谷藤 義展	赤羽	澤越 博幸	武蔵野

競技委員長 竹村 孝

平成 24 年度 関東倶楽部対抗東京ブロック予選競技

開催日 : 5 月 21 日(月)

開催コース : 青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

5. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断	:	} カート無線および放送設備にて通報する。
険悪な気象状況による即時中断:	:	
プレーの再開	:	

または競技委員を通じて競技者に連絡する。

7. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - d. 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
 - e. 距離計測のための掲示板
5. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。
6. 予備グリーン
クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。

注意事項

1. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。(使用クラブはアイアンのみとする。)
4. 使用するキャディーバッグは、9 インチ以下とする。

競技委員長 竹村 孝